

1. 学級数・在籍生徒数（令和7年4月現在）

学級数	生徒数	1年	2年	3年	計
1	男	3	1	3	7
	女	2	3	2	7
	計	5	4	5	14

2. 教育目標

聴覚障害により学習や生活への適応に不安を抱える生徒に対し、障害認識を促すとともに保有聴力を活用しながらコミュニケーション能力の伸長を図ることにより、生徒が意欲的・主体的に取り組み、その能力や適性が十分発揮できるよう指導・支援する。

3. 指導の重点（基本方針）

- ①個の能力やニーズに応じた指導
- ②通級生徒同士の交流・活動の場となる環境作り
- ③在籍学級や保護者との連携による協力体制の確立
- ④他の難聴学級や専門家等との連携による指導法の工夫・改善

4. 週時間割（例）

	月	火	水	木	金	時間帯
	打ち合わせ	打ち合わせ	打ち合わせ	打ち合わせ	打ち合わせ	
1	教室会議	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	8:50～9:40
2	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	9:50～10:40
3	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	10:50～11:40
4	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	11:50～12:40
給食・昼休						12:40～13:25
5	自立活動	（研究会）	教室会議	自立活動	自立活動	13:30～14:20
6	自立活動	（研究会）	自立活動 グループ・個別	自立活動	教室会議	14:30～15:20
	自立活動	（自立活動）		自立活動	自立活動	15:45～16:45
	自立活動 個別	（自立活動） （個別）		自立活動 グループ・個別	自立活動 個別	

5. 主な年間行事

- ・新入生歓迎会（4月） ・難聴学級見学会（7月） ・講演会（8月）
- ・難聴学級小中交流会（10月） ・卒業を祝う会（3月）

6. 電 話

職員室（3993）1348

学校FAX（5984）2730

事務室 （3993）1349

学 級（3993）1350

学級FAX（3993）1350

私たちの学級は・・・

きこえにくさのある中学生が、学校生活や教科学習に自信をもって取り組めるように支援する学級です。

通級の方法

校内通級と校外通級があります

校内通級 開進第二中学校に在籍して、校内にある難聴学級に通う方法。

校外通級 開進第二中学校以外の中学校に在籍して、難聴学級に通う方法。

(保護者の付き添いはありません)

学習の内容

個別やグループの形態で自立活動の学習をします

自立活動☛言語にかかわる学習を中心に、生徒の実態に応じて言語力・理解力の伸長や語彙の拡充を目指して行う活動です。

☛生徒が意欲的に学校生活を過ごし、将来自信をもって自立できることを目指して行う活動です。

情報保障 校内通級生は主に社会科の授業で、モバイル型遠隔情報保障を行います。

式典等では、現地入力情報保障によるスクリーン字幕投影を行います。

障害理解 校内で聴覚障害理解の授業を行っています。必要に応じて校外でも出前授業を行います。

主なグループ活動

新入生歓迎会、難聴学級見学会、講演会、進路学習、小中交流会、きこえの学習、入試体験報告会、卒業を祝う会 など

最近の進路先

都立高校、私立高校、都立ろう学校



校長 堀 健一

副校長 志村 修

所在地 桜台3-28-1

1. 学級数・在籍生徒数（令和7年4月現在）

学級数	生徒数	1年	2年	3年	計
1	男	1	0	0	1
	女	0	0	0	0
	計	1	0	0	1

2. 教育目標

- (1) 人間性豊かな成長と、思いやりの心を育てる。
- (2) 自己の障害について理解を深め、将来の自立に向け必要な力を身に付ける。
- (3) 自ら考える力と、基礎的な学力を身に付ける。
- (4) コミュニケーションの力を高める。

3. 指導の重点（基本方針）

(1) 各教科・道徳・特別活動・自立活動

- ・視知覚の能力を補い、環境の認知力を育て、行動力や移動能力の向上を図る。
- ・眼疾に応じた視覚管理と感覚代行機器を十分に活用できる能力を育てる。
- ・目と手の協応動作の発達を促し、手指の巧緻性を高める。

(2) 生活指導

- ・視覚障害を理解し、自立に向け自己の力を最大限に生かした基本的生活習慣を身に付けさせ、健康安全の意識と態度を養う。

(3) 進路指導

- ・社会的、経済的自立をめざし、各自の特性、眼疾に適した進路を選択する力を養う。

4. 週時間割

生徒の実態に応じて、週1～2回（約2～4時間）の授業を行う。

5. 主な年間行事

- ①個別面談 ②弱視学級講演会 ③視覚機能検査

6. 電 話

職員室（3993）4265

事務室（3993）4267

FAX（5984）3036

弱視学級では

傾斜机

いい姿勢で読み書きができます。

単眼鏡

遠くを見るレンズで
黒板を見て書き写します。

近用レンズ

近くのものを見るルーペです。

拡大読書器

本などの文字をTV画面に
拡大して映し出す機器

こんなことでお困りではありませんか

- 極端に目を近づけて本やテレビを見る。
- 画数の多い漢字や、細かい目盛り、地図などを見るのが大変疲れる。
- 本を読むとき、行をとばしたり、読み間違えたりする。
- 階段や暗い所（雨の日、夜など）でつまずきやすい。
- ボール運動で、ボールがどこから飛んでくるかわからない。

見やすくする工夫や、よく見る練習をすることで、
生活や学習の様子がずいぶん変わってきます。

弱視学級では、

将来の自立に向けて必要な力

を身に付けるサポートをします。

最寄駅	地下鉄有楽町線	氷川台駅	徒歩	5分
	西武有楽町線	新桜台駅	徒歩	10分
	西武池袋線	桜台駅	徒歩	15分

